

育成を目指す資質・能力

＜本時のねらい＞

L字型の立体の体積の求め方を個人で考えて図や式で表現し、その後、児童それぞれの考え方を比較・検討する活動を通して、立体を様々な視点から捉え、体積を求めることができるようにする。

ICT活用のポイント

L字型の立体の体積について、ホワイトボードアプリと学習支援ソフトを用いて児童の考え方を比較・検討することで、立体を多面的に捉え学習内容の理解を深める。

【であう】

前時の学習を振り返り、本時の課題をつかむ。

【追究する】

L字型の立体の体積の求め方をはじめ個人で考え、その後、児童の考え方を比較・検討することで、立体を多面的に捉えるようにする。

【つかう】

L字型の立体の体積の求め方を使い、様々な立体の体積を求める。

事例の概要

・前時に学習した直方体や立方体の体積の求め方を確認し、直方体でも立方体でもないL字型の立体の体積はどのように考えれば求められるのかを本時の課題とする。

【事例におけるICTの活用場面①】

○ホワイトボードアプリを用いて、L字型の立体の体積の求め方を個人で考えて図や式で表現する。

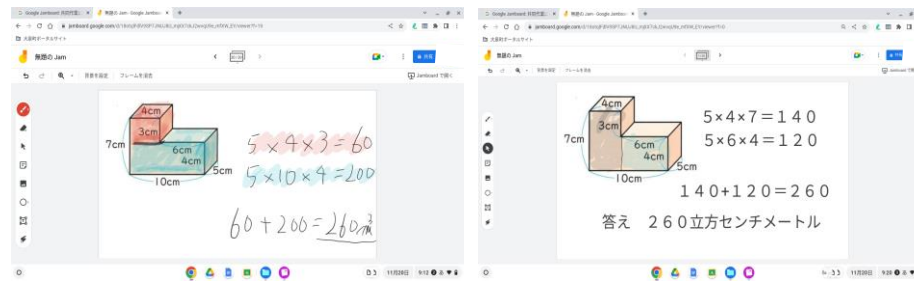
【事例におけるICTの活用場面②】

○学習支援ソフトを用いて、ホワイトボードアプリ上の全児童の考え方を一斉に表示して、比較・検討を行う。

・L字型の立体の体積の求め方についてまとめ、適応問題で様々な立体の体積を求める。

【算数科・小5・「体積」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



↑ 児童から出てきた考え方の例

ホワイトボードアプリで配布された図に体積の求め方を個人で考え、端末上に考え方を表現した。

ホワイトボードアプリのマーカー機能などを使って色分けをして図を見やすく工夫する児童や、追加のシートに他の考え方を追究する児童が見られた。

【事例におけるICT活用の場面②】



児童が端末を通して提出した考え方を学習支援ソフトを用いてTVに一覧表示して比較・検討を行った。

TVの画面で共有したことにより、児童が効率的かつ視覚的に様々な考え方に触れることができた。また、児童がどのように考えたのかをお互いに説明し合う活動ができた。

【児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

学習支援ソフトを活用したことで、児童の考え方を短時間で見やすく共有でき、比較検討の時間を充分にとることができた。

また、全員の考えを一覧で見られることで、児童全員が授業に参加しているという意識を持つことができた。さらに、通常では黑板上に提示する考え方が限られてしまう中、ICTの活用によって、黑板を補足の式や説明などのスペースとして有効に使用することができた。

【活用したソフトや機能】

- ・ホワイトボードアプリ
- ・学習支援ソフト